

高等学校図書館におけるキャリア教育への支援

Supports for Career Education in High School Library

学籍番号：201621596

氏名：朝倉 美穂

Miho ASAKURA

学校におけるキャリア教育は、児童生徒が将来自立した一社会人として生きていくために必要な能力や態度、意欲をそれぞれの発達段階に応じ、生涯にわたって育てる教育である。特に高等学校におけるキャリア教育は、今日の急速な産業構造の変化や多様化する職業や雇用形態の中で、社会人としての自立を目前に控えた高校生にとって、担う役割が大きくなっている。一方、学校図書館は、学校の教育課程の展開に寄与することを設置の目的としており、また、近年は「学習センター」「情報センター」としての機能の充実に期待が高まっている。しかし、学校図書館のキャリア教育への支援に関する研究は殆どない。

そこで本研究では、高等学校のキャリア教育における学校図書館の支援の現状と課題を明らかにし、高等学校のキャリア教育への効果的な支援について考察することを目的とする。研究方法は、文献調査及び、学校図書館担当者（司書教諭、学校司書）等への質問紙調査、聞き取り調査である。

研究結果より、高等学校図書館では、キャリア教育への支援として「資料提供」「調べ方の指導」「場の提供」の3つの支援が行われていることがわかった。そして、これらの支援をしっかりと行っている高等学校では、生徒の意識・意欲の向上や、関心度の向上がみられ、また学校図書館の支援が生徒の進路を考える上での一助となり、キャリア教育が目指す「基礎的・汎用的能力」の育成につながっていることが明らかになった。さらに、キャリア教育への支援をきっかけに、学校図書館の利用が促進されるという効果もみられた。学校図書館がキャリア教育への効果的な支援をするためには、「学校の教育方針としてのキャリア教育の推進と、教育課程への学校図書館の位置付け」「学校図書館の学習センター、情報センターとしての機能の充実」「学校図書館担当者の十分な資質・能力と、学校や生徒の実態に合わせた支援」が必要であることも明らかになった。しかし、学校図書館のキャリア教育への支援は、その継続性という点には課題が残る。その改善には、高等学校3年間に渡る体系的な計画と、その計画への学校図書館の位置付けを明確にする必要がある。さらに学校図書館担当者の資質・能力向上のための研修に加え、特に学校司書が職員会議に参加するなど学校教育を担う一員としての立場の保障が望まれる。

研究指導教員：平久江 祐司

副研究指導教員：大庭 一郎